

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **企画文化局**

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根づき_誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興

担当局 / 総務担当課名	企画文化局	企画課
連絡先	582 - 2153	

21年度計画

-2-(3)-

施策名 **スポーツ施設の整備**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	多目的な利用が可能な広場など、身近なスポーツ施設の充実を図るとともに、施設の建て替えや新設を行う際には、すでに集積がある地区へ統廃合を進めることにより、その地区の中核性を高めるとともに付帯設備を確保することを検討します。また、国際規模の大会やプロスポーツの試合が開催可能な高規格施設については、優先度の高い球技場や市民球場などの整備を検討します。あわせて、障害者スポーツセンターの再整備の検討を進めます。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	スポーツの振興

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度			年度	平成25年度
高規格施設、集積化の検討状況: 検討事業数			実績	1 事業	目標値	4事業
スポーツ振興審議会から出された「体育施設のあり方について」提言のなかで施設整備の基本的方針として、高規格施設整備や施設集積化を図ることとしています。	現状値	1事業	達成度	%		
既存スポーツ施設の整備状況: 耐震、建替・新築施設数			計画		年度	平成25年度
施設利用者の安全確保のために必要な改修や、老朽化などにより本来の機能を有しなくなり、市民のニーズに応えられなくなった施設の更新をします。	現状値	0箇所	実績	0 箇所	目標値	4箇所
			達成度	%		
AEDの設置状況			計画		年度	平成25年度
施設利用者の安全確保のために必要な機器の設置をします。	現状値	64%	実績	64 %	目標値	100%
			達成度	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]		事業費	12,133 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
			うち一般財源	12,133 千円	15,000 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	高規格施設整備のうち、優先的に整備すべきとされている新球技場については、基本方針の策定が進められたが、最終的な確認が必要なこともあり、H21年度内に方針決定には至っていません。
今後の局施策の方向性	引き続き、新球技場整備に向けた取組みを進めていくとともに、施設の集約化検討や施設改修、AED設置など具体的な事業にも取り組んでいくこととしています。	

【局施策評価】 A: 大変良い状況にある B: 概ね良い状況にある C: 概ね良い状況とまでは言えない D: 不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	スポーツ振興課
連絡先	582-2395	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	スポーツの振興
	主要施策	スポーツ施設の整備

関連計画	北九州市スポーツ振興審議会「体育施設のあり方について」提言
事業期間	平成21年度～未定
経費区分	特別経費(重点)

-2-(3)-

事業名	新球技場整備事業				
事業の概要	何(誰)をどのよう状態にしたいのか。	Jリーグ規格を満たすとともに、市民に夢と感動を与える「見るスポーツ」の機会を提供するため、サッカーやラグビーなどプロアマ問わずレベルの高い試合や大会を中心に開催できる施設として、新球技場を整備します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	スポーツ施設の整備	成果	高規格施設、集積化の検討状況: 検討事業数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由 建設候補地の絞込みに時間を要しているため			
		現状	基本方針の策定	整備方針の策定	施設の設計等	整備工事の実施					
	実施状況	成果・活動指標 (上段: 指標名、下段: 指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		高規格施設、集積化の検討状況: 検討事業数						計画	1 事業	年度	-
		新球技場の整備に向け、高規格施設の検討事業数について指標を設定します。						実績	1 事業	内容	早期整備
								達成度	100.0 %	年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]						事業費	12,133 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
							うち一般財源	12,133 千円	15,000 千円		
単年度計画											

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	当初は、平成21年度末までに、建設候補地を含む新球技場の基本方針を策定する予定でありました。しかしながら、建設候補地については、詰めの段階に至っているものの、最終的な確認が必要なこともあり、もう少し時間が必要な状況です。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	市民が全国・国際規模の大会等、夢や感動を覚えるような「超一流の競技」を見ることは、市民に夢と感動を与え、活力ある北九州市の創出につながります。「見るスポーツ」の機会提供の場である新球技場整備の基本方針に関する調査・検討は、新球技場の建設地や整備の基本的な方向性を整理するものであり、「スポーツ施設の整備」に向け、有効性は高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	業務委託の発注にあたっては、全国的な取り組み事例などの豊富な知識、実績や高度なノウハウを持った業者による指名競争競争入札を実施し、競争性・経済性に最大限配慮しています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	現在、市内には全国大会やプロスポーツの開催に対応した高規格・大規模な施設が、質、量ともに不足している状況であり、今後も新球技場整備に向けて、本事業を積極的に実施していく必要性が高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすことはできないのか。	4	他都市の事例においても、球技場の大半が公共施設となっていることから、現在のところ他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当だと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、「スポーツ施設の整備」を着実に図っていく上で重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向けて着実な取組みを進めていくことが適当だと考えます。